

「宿泊を伴う校外学習」における食物アレルギー事故防止チェックリスト(例)

学校

- 学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)を提出している児童生徒がいる

事前の情報提供

旅行者
宿泊施設

- 全ての食事のメニューと使用食品の情報を学校に伝えた。
- 体験活動等内容の詳細を学校と確認した。
- 緊急時の搬送先(宿泊先周辺の適切な医療機関)の情報を学校に伝えた。

※学校は、校外学習の少なくとも1月前までに、これらの情報の提供を求めること。

学校・保護者が綿密に話し合う

学校

- 情報提供を受けた食事内容を保護者に知らせ、保護者と相談して対応案を決めた。
- 食品を扱う体験活動がある場合は、保護者に確認し、対応案を決めた。
- 緊急時の保護者の連絡先、対応方法、搬送先について保護者と確認した。

相談

保護者

- 情報提供を受けた食事内容を確認し、対応の希望を学校に伝えた。
- 活動内容を確認し、配慮が必要な活動がある場合は、学校に伝えた。
- 緊急時の連絡先、対応方法、搬送先を学校と確認した。

最終的な対応について協議・決定し、確認書*を作成する

学校

保護者

旅行者・宿泊施設

- 全ての食事の対応を決定した。(除去食対応、代替食対応、その他)
- 体験学習で配慮が必要な場合は、その内容を決定した。
- 緊急時の連絡体制、対応、搬送先を決定した。

* 「宿泊を伴う校外学習」における食物アレルギー対応確認書(例)参照

学校

- 対応について、教職員間(特に引率者全員)で共通理解を図った。

保護者

- 持参する薬がある場合、原則として本人が使用できるよう、本人と確認した。
- 緊急時に備え、主治医からの紹介状を準備し、学校に渡した。

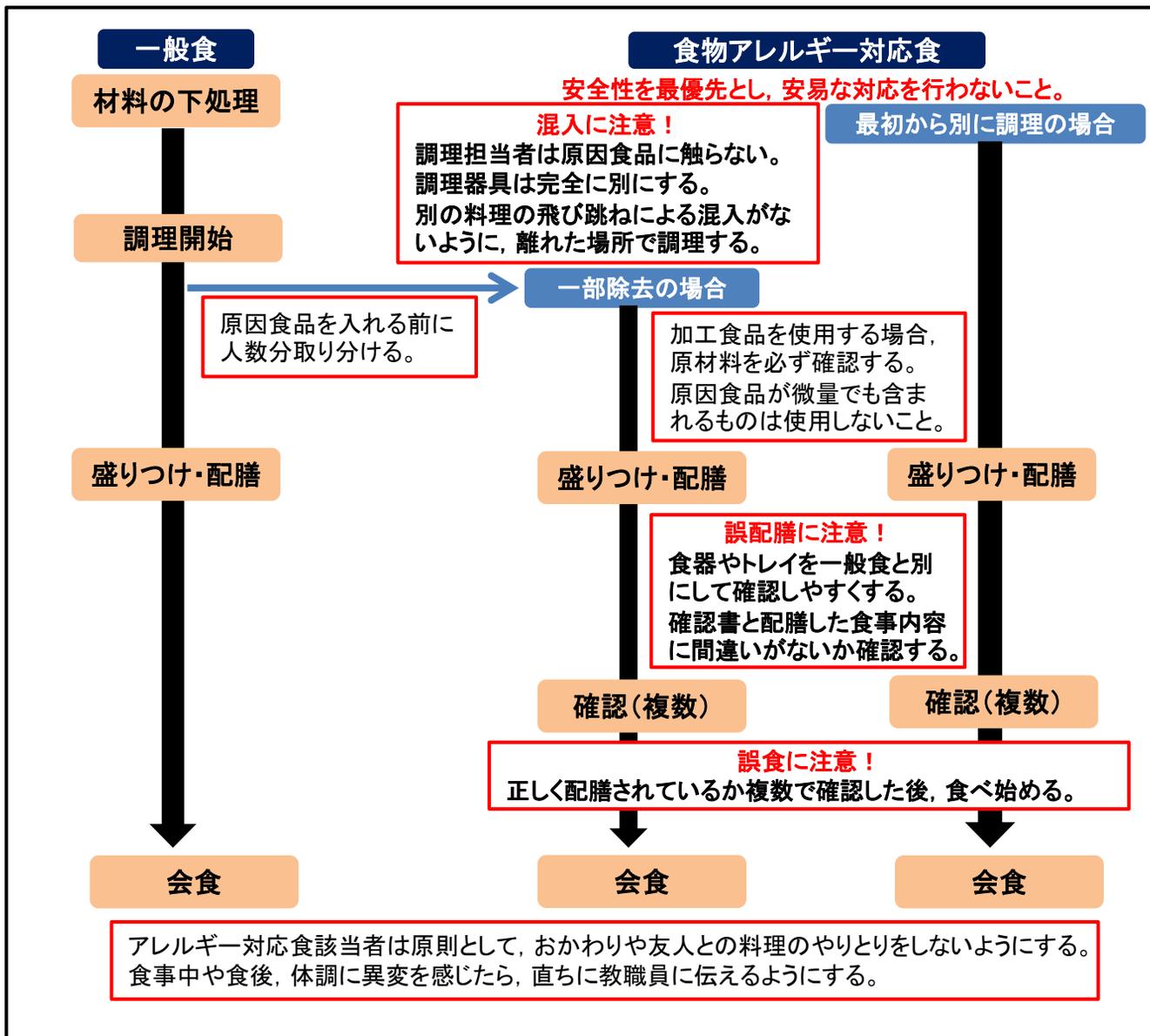
旅行者
宿泊施設

- 対応について、スタッフ全員と共通理解を図った。
- 食事の対応に関しては、複数でチェックできる体制を整えた。

食事や体験活動の前に、再度、確認する

- 提供された食事が計画通りとなっているか、食べる前に複数で確認した。
- 体験活動の前に、配慮事項について、本人と再度確認した。

食物アレルギー対応食－調理の流れ(例)



※ 食物アレルギー対応食を希望する場合は、上図等を参考に、食事提供者がどの程度の対応が可能か確認した上で、食事内容を決定しましょう。

※ 食事提供者は、どの程度の対応が可能か、施設設備や人員から総合的に判断しましょう。

※ ヒューマンエラーを防ぐため、どの段階で誰がどのように確認するのか決めて、対応を実施しましょう。

「食物アレルギー ひやりはっと事例集 2013」から抜粋

事例 3

卵抜きで調理していたのに・・・

年齢・性別 : 4歳 男児

アレルゲン : 卵

原因 : てんぷらの衣についた卵

症状 : アナフィラキシー

経過 : いつも除去食を出してくれるホテルで、てんぷらを食べた時にじんま疹、腹痛、冷や汗が出てぐったりしました。すぐ手持ちのステロイド薬を飲ませ、病院を受診した時には症状は落ち着いていました。その後、ホテルに確認したところてんぷらの衣に卵が混ざったおそれがあることを知りました。

解説 : 卵抜きの材料で調理はされていたのですが、うっかり他の料理で使用した調理箸を使用したため、てんぷらの衣に微量の卵が混入したものと考えられます。

「宿泊を伴う校外学習」における食物アレルギー対応確認書（例）

学 校 名	学校		
(フリガナ)	学年・学級	年	組
児童生徒名	担 任 名		

1 食物アレルギーに関する情報について（保護者が記入する）

原 因 食 品			
食べたときの症状			
症状が出現した時の 普段の対応			
アナフィラキシー の既往	有 <input type="checkbox"/>	原因（	）
	無 <input type="checkbox"/>		
薬剤持参の有無	有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>	
	薬剤名（		
	持参量（		
	1回使用量（		
	使用上の注意		
主治医の紹介状	有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>	

2 校外学習期間中の食事対応について
(学校が保護者、旅行業者・宿泊施設等と協議した後記入する。)

日付	食事場所 緊急時搬送先	メニュー	食事での対応内容		
／ 朝・昼・夜	-----		除去食	代替食	その他
／ 朝・昼・夜	-----		除去食	代替食	その他
／ 朝・昼・夜	-----		除去食	代替食	その他

※ 必要に応じて枠を増やすこと

◎ 食事の際の配慮事項

<p><食事提供施設に対して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事の提供前に、食物アレルギー対応内容について再度確認をすること。 ・ 特に加工食品を使用する場合は、原材料を必ず確認し、微量の混入もないことを確認すること。 <p><該当児童生徒に対して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配膳された食事が、予定どおりの対応内容であるか複数（食事提供者、引率者、本人）で確認した後に食べるように指導すること。 ・ 食事中や食後、体調に異変を感じたら、直ちに教職員に伝えるよう指導すること。

3 食品を取り扱う体験学習等における配慮事項について

--

上記の対応に同意します。

保 護 者 名	Ⓜ	緊急連絡先	
		緊急連絡先Tel	